

# GOVERNOR's Monthly Letter

ガバナーズ マンスリー レター

D2580  
ガバナー月信

# 10

OCTOBER 2019 Vol.4

発行

国際ロータリー 第2580地区 ガバナー事務所

〒104-0031 東京都中央区京橋 2-11-8 全医協連会館1階  
TEL: 03-3538-0211 FAX: 03-3538-0212  
E-mail: office@rid2580.org URL: https://www.rid2580.org/



## 「10月は米山月間です」

国際ロータリー第2580地区

2019-20年度ガバナー

新本 博司

当地区では2019学年度は37名の米山奨学生を2020学年度は39名を支援する計画となっております。世話クラブやカウンセラーをお引き受けいただき誠にありがとうございます。奨学金の財源は、皆様ご承知の通り、全てご寄付で賄われております。寄付には普通寄付と特別寄付があり、多くのクラブではこの米山月間中、例会場に専用のテーブルなどを設け、クラブ米山委員の方々が善意の寄付をお願いしていると思います。

米山事業に対する再認識の為、奨学生、学友、地区委員の方々から米山事業に関する情報を卓話でお聞きになり、東京RCからスタートしたこの日本を代表する奉仕活動(多地区合同活動)の重要性を共有された方も多いのではないのでしょうか。

例年、当地区の米山奨学生には、バスで静岡県・三島の米山梅吉記念館を訪問し、梅吉翁の足跡を辿りながらその理念を学び、更に柿田川湧水清掃活動を通して奉仕の実践を体験してもらっています。今年も9月7日に総勢70名が米山梅吉記念館訪問バスツアーに参加し、私もそこに加わりました。カウンセラーや米山委員長などの多くのロータリアンも一緒に参加してくださいました。奨学生と一緒に米山奨学事業の本質を学び、その日得た沢山の情報をご各々のクラブに持ち帰り、その貴重な体験、重要性を貴クラブ内に伝えることで、10月の米山月間を盛り立ててくれると確信しております。



9月7日 米山梅吉記念館訪問ツアー 柿田川湧水清掃活動

今後もこの素晴らしい事業を継続し、安定的に米山奨学生を支援できるよう、ぜひご寄付という形でご支援とご協力をお願いいたします。

### 地区職業奉仕セミナーが行われました

8月21日にザ スtringス表参道において、地区職業奉仕委員会主催の職業奉仕セミナーが行われましたので、ご紹介します。

今回は、上山昭治パストガバナーより公認会計士の立場から事業承継について御講演を頂戴致しました。個人事業主も入れれば、現在の日本の中小企業数は358万社にのぼり、これは実に全企業数の99.7%を占めます。雇用面で見ても、中小企業勤務者が日本全体の雇用者数内73%になります。そして、これらのうち245万社の経営トップが平均で66歳を迎え、127万社で後継者が決まっていないのが実際であります。よって50%の企業が黒字を計上しながらも廃業を予定するという大問題が発生しつつあります。

事業承継のうち、親族内相続が半分以上であり、親族以外の社内の人間への継承は減少傾向にあります。一方、M&Aなど社外への継承が増加しております。これらの現象は金融機関が、借入に関して連帯保証を求めることなどが大きな要因となっております。

よって企業が雇用を創出し続けるという意味でも、事業のバトンタッチは、とても大切なイベントです。そこで今年度は事業承継に関するセミナーを3回企画いたしました。次回は10月2日です。ぜひお越しください。

## 地区研修会の報告

8月8日14時半から17時半に、ホテルグランドパレスにおいて、地区研修会が執り行われました。各クラブ会長・幹事及び公共イメージ向上担当者が参加して、柳生好春第2地域公共イメージコーディネーターの講演「いま、なぜ公共イメージと認知度向上か」をお聞きして、地区公共イメージ向上委員長の中島弘人さんによる「公共イメージ向上」のディスカッションが行われました。

柳生様からは、近年の会員数減少の問題や、2011年頃から公共イメージ向上キャンペーンが盛んになってきたことが話されました。最近の人はストーリーから学ぶので、ストーリー仕立てにしないといけないとか、ロータリーが多様性からアイデンティティーの混乱を来しているという調査結果の話、ミレニアル世代と呼ばれる若者は物より事に対する興味が強いなど、興味ある示唆をいただきました。ぜひ、出席者各位におかれましては、ご自身のクラブにこれらの話を持ち帰り、皆で話し合ってみていただきたいと思っております。

ディスカッションでは、テーブル毎にファシリテーターを決めて、以下の4つのテーマを用意しました。これも各クラブでもう一度議論して見ていただきたいと思っております。

1. 貴方のクラブではロータリーの「公共イメージ」の必要性が認識されていますか？クラブ定款においても公共イメージ委員会の設置が推奨されていることが役員の間で理解されていますか？
2. 貴方のクラブでは、奉仕活動を行う際にロータリーのロゴや統一イメージに則った表記やそれらを用いたグッズを活用していますか？

3. 貴方のクラブの「公共イメージ向上」に対する取り組みについて話してください。
4. 貴方のクラブでは一般の方々にも参加してもらえるような活動を行ったことがありますか？(Rotary Dayとして展開できるような)あるいは企画次第でその様にできる活動はありますか？

ディスカッションの後には、鈴木隆雄地区研修サブリーダーによる「規定審議会決定報告対応解説」が行われました。とても大事なことで、この部分については、別途下に項目を設けて説明します。次回の地区研修会は青少年奉仕について、11月14日(木)にハイアットリージェンシー東京で行われます。登録期限は10月25日です。皆様のご参加をお願いいたします。

## 規定審議会への参加の勧め

規定審議会は、3年に1度開催される国際ロータリーの立法機関です。2019年は、開催年に当たり、4月にシカゴで開催されました。そこで審議される立法案は、制定案と見解表明案です。具体的には、「国際ロータリー定款」、「国際ロータリー細則」及び「標準ロータリークラブ定款」を改正するための審議です。なお、毎年審議が行われるものに決議審議会があり、方針決議案を審議しますが、今回は説明を省略します。

投票権があるのは、世界の528地区であり、各地区から1人の代表議員が集まります。国際ロータリーの会長や理事は、規定審議会に出席できますが、投票権はありません。ただし執行部ですから、賛成意見または反対意見の発言機会は沢山あります。提案した地区の代表議員は提案理由を述べなければなりません。その他の代表議員も、任意で発言することができます。

今回の注目提案の審議結果は、次のとおりです。

- ①欠席した例会のメイクアップは、同年度内に行えばいいことになりました(従来は例会の前後それぞれ14日以内)。従来通りの規定をクラブ細則に定めることは可能です。
- ②職業分類の制限を廃止しました。職業分類をなくすことではなく、制限を廃止するだけですから、特定の職業分類の会員の適切な数をクラブが自ら決

定できます。さらに、公職にある人も、その職務と関連する職業分類を使ってクラブに入会できます。

③ローターアクトクラブが国際ロータリーに加盟するかどうかにについては、当初三分の二の賛成が得られずに否決されましたが、翌日再審議があり、ローターアクターにロータリーとしての活動に道を広げる、彼らのエネルギーをロータリーに取り入れる、会費は理事会が決めるが予定していない、クラブの国際ロータリーへの加盟は自動的である、として可決されました。

④人頭分担金は、2020～21年度からの3年間は、年69ドル、70ドル、71ドルに増額されることが承認されました。

次回(2022年春)の規定審議会には、沢山の提案をお願いいたします。

## 北分区 会長・幹事会

北分区の会長・幹事会が9月5日にハイアットリージェンシー東京で開催されました。猪飼昭彦ガバナー補佐が特別講演者との関わりや趣旨説明と挨拶をした後に、特別講演者の東京都知事の小池百合子様が登場し、会場が湧き大きな拍手に包まれました。小池様には「東京オリンピック・パラリンピックと都民の関わり」という演題についてお話しいただきました。特にバリアフリーのまちづくりや持続可能な資源循環型都市の実現についての説明は、世界各国にも広がるプロジェクトであり、このような意味においてもオリンピック・パラリンピックが大きな存在である事を改めて確認することができました。

続いて東京浅草RCと東京豊島東RCが発表を行いました。東京浅草RCからは「クラブの再認識と強化」

について、クラブ独自の職業奉仕12章のご説明や創設当初からの4つのテストを重んじられている想いをお伝えいただきました。東京豊島東RCからは「クラブの改革へのチャレンジ」について、新入会員のお試し期間の導入や例会回数見直しによる運営等を伺いました。懇親会では、各クラブの代表がショートスピーチをし、会長幹事の親睦がより深まりました。

## ガバナー公式訪問(7月31日～9月2日分)

今年度は合同例会の開催をお願いしたこともあり、7月31日には東京臨海・東京臨海東・東京臨海西3クラブ合同例会(東武ホテルレバント)への公式訪問となりました。合同例会開催にご協力いただきありがとうございました。3クラブ合同例会は珍しいので、当日の流れをご紹介します。

会長幹事との打ち合わせは各40分で順番に実施しました。東京臨海RCのクラブ協議会が、同時並行しての開催でしたので、同行の岡本副幹事が協議会へ出席しました。

3クラブ合同例会後、東京臨海西RCのクラブ協議会が開催され、10～15時の長丁場でしたが、各クラブの平均年齢が約50歳ということもあり、とてもパワフルで、非常にアクティブに活動している様子が伺えました。ロータリーの守るべき部分はきちんと守り、変革すべき部分は改善にチャレンジしていました。会員増強にも積極的に取り組んでおり、今期中の増員も期待できそうです。東京臨海東RCのクラブ協議会は別日程で行われ、ガバナー補佐が参加しました。

8月5日東京上野RCでは、今年度のテーマ「上野イズム」の説明を受けました。「上野イズム」を通して、



東京上野RCは地域そして世界とつながります、とのこと。美術館、博物館、東京芸術大学等が所在する地域を背景とし、創立35年の歴史を重んじ「上野イズム」の名のもとに地域や社会のニーズを掘り起こし、奉仕を実践し、公共イメージと認知度の向上を図り、海外姉妹クラブとの「つながり」を更に深めたい、との趣旨でした。

「上野イズム」を全会員が共有することで、公共イメージの向上にもつながり、委員会活動を活発に実践することが「上野イズム」にもつながると感じました。ローターアクトに続き、インターアクトの設立も期待したいとお伝えしました。そのことで若者の育成に貢献し会員増強にもつながると思います。

8月6日には、**東京後楽RC**を公式訪問いたしました。今年度テーマを「3つのC(CHANCE・CHALLENGE・CHANGE)」とし、メンバー全員がロータリアンとして誇れるような事業活動を行っていききたいとの抱負を聞かせていただきました。後楽園という環境、文教の街という歴史性をアピールするようなキャッチフレーズ考えて、それを全会員が共有することで公共イメージの向上にも繋げていただきたいと思います。



同8月6日の夕刻には、**東京あすかRC**を公式訪問致しました。当クラブは、2019年12月末をもって解散することが決まったので、クラブ協議会は開催せず、会長・幹事との打合せだけになりました。会長より解散の経緯を説明していただきました。昭和63年創設で、多いときには60名強の会員が在籍していましたが、現在は13名で運営されています。解散式は、12月のクリスマス会となる予定です。

8月7日は**東京小平RC・東京東久留米RC**の合同例会を公式訪問いたしました。東京小平RCからは、クラブとしても社会福祉協議会に理事として参加しており、また会長自身も理事をしているので、クラブと地域団体との橋渡しをして、奉仕活動に繋げたいとの説明をいただきました。また、地区補助金を利用して奉仕活動を充実させたいとお考えをお聞きしました。青少年委員会からは、嘉悦大学のローターアクトクラブとより密接な関係を構築したいとの報告がありました。

東京東久留米RCの会長のスローガンは、『バック・トゥー・ザ・ベイシックス』で、本年50周年記念を、これまでの先達への感謝とこれから100周年への基礎となる年としたいとお考えをお聞きしました。本年度は委員長を若い会員中心に構成して、50年続いたMENSクラブから脱却(女性会員が初めて入会)しました。50周年記念事業として、市内のサッカー大会を『ロータリー湧水カップ』という冠大会にし、社協とタイアップして目の不自由な方の疑似体験を小学生にしてもらう事業を2月11日に開催するお話もお聞きしました。7月に女性を含む3名の新入会員があり、50周年50名を目指していること、台湾との友好クラブづくりに取り掛かっているとの報告も受けました。50年の歴史と経験が感じられ、活動方針が国際ロータリーの方向性と一致していると感じました。

8月8日は、**東京池袋RC**の公式訪問でした。本年度会長のテーマは、『フェロシップ・親睦』です。クラブ内だけでなく、地域社会での親睦を目指しますとのこと。1959年創立(2018年に60周年)と、非常に歴史あるクラブで、会員は高齢化しているが、高齢化が問題なのではなく会員減が問題なので、会員の結束を図り増強したい、との考えをお聞きしました。60周年作成の「としま こどもかるた」を使用したかるた大会(13小学校で実施)を通じて、公共イメージ向上を図る計画もお聞きしました。他にも、芥川龍之介に因んで、感想文コンクール『河童忌作文コンクール』を実施、オーストラリアのエッピングRCとの交流についても報告がありました。9月12日に、東京池袋NEXTロータリー衛星クラブが2周年を迎えるので、現在10名の会員を20名にしてロータリークラブになることを申請する計画です。

8月9日は**東京城北RC・東京セントラルパークRC**を訪問いたしました。東京城北RCは、若い会長・幹事が果敢に会員減少問題に立ち向かっている姿がありました。例会数を見直したり、理事・役員数を削減したりし、若い人達が参加し易い環境を整える試みと伺いました。奉仕活動も選択と集中を行い、作文コンクールに集中し、奉仕の質の向上を目指すとのこと。会員同士の仲の良いのがクラブの特徴と伺いましたので、親睦を大事にして、不易流行に努めていただきたいと思います。

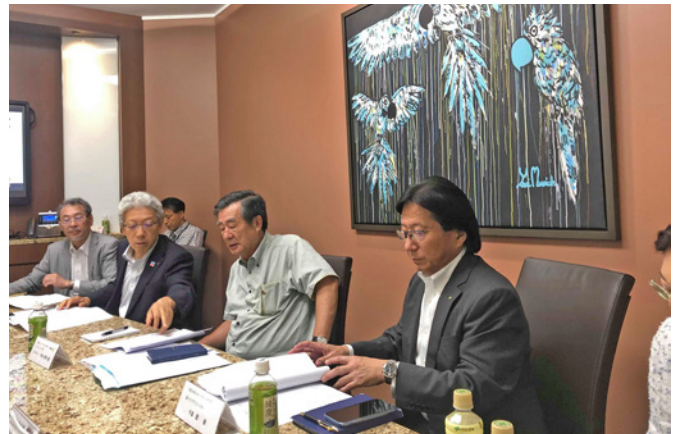
東京セントラルパークRCは女性会長が明るくリードしていて、スローガン「Welcome 100」を掲げて頑張っているらしいです。会員増強も、若い人が若い人へと繋いでいく姿が見えました。こちらのクラブも会員の仲が良いのが特徴で、クラブ協議会も例会も和気藹々で楽しそうでした。今年度は青少年交換来日生のホストクラブで、既に4人の会員がホストファミリーに手を挙げてくださっているそうです。今年9月からは、子供食堂を始めるとのことで、地域への貢献を期待しています。



8月21日に**東京丸の内RC**を訪問いたしました。2018年2月に承認されたクラブですが、クラブ協議会で具体的な活動内容が報告され、感心しました。会員の減少もありましたが、丸の内は日本の中心でもあり、その名前を冠したクラブとして、今後伸びて行くことが期待されます。若いクラブでロータリー歴も浅い方が多いので、どんどん研修に出て、ロータリーについて学んでいただきたいと思います。認証伝達式を含めて過去に2回私は訪問しておりますが、若い人達が多くて、そこが強みにもなると感じます。SNSの活用など、公共イメージ向上に繋がっているとの印象を受けました。



8月20日は**東京北RC**を訪問いたしました。今年度のテーマ「承継と変革」を掲げ、次年度の70周年に向けて、クラブの伝統を承継すると共に、変化の激しい時代背景を踏まえ、変わるべきものは変え、新しいものへも積極的にチャレンジしていきたい、との抱負を伺いました。シニアの経験、知恵と若い方の感覚、感性を取り入れ世代間の交流を深めるために「シニア交流委員会(特別委員会)」を創設したそうです。公共イメージの向上についてはコミュニケーション委員会(会報・広報・雑誌・IT)で取り組んでくださっています。



8月26日は**東京江戸川RC**を訪問しました。基本的に忠実で、一つひとつきちんと実行されていると感じました。「堅苦しさを感ずる」といわれることがあるようですが、規律の厳しさを若い人に受け入れられるように引き継いで、工夫していくことが課題といえるかもしれません。親睦を重視して、各委員会が調和のとれた活動をされており、充実していると感じます。故に会員が例会に行くことが楽しくなり、会いたくなるというのは、ロータリークラブの神髄といえると思います。

8月27日は、**東京東江戸川RC**と**東京江戸川中央RC**の合同例会を訪問しました。東京東江戸川RCの各委員会の発言を聞いて、皆で手をつないでいこうという意欲を感じました。多くの先輩方がクラブに在籍していることが素晴らしいと感じ、そして先輩方が若い方々をリードして行ってほしいと願います。ロータリーの良さを伝えていくことが、クラブの活性化にもつながっていくと思います。

東京江戸川中央RCは少人数のクラブのため、クラブ内の意思疎通が良く、会員の世代間のギャップが少ないそうです。永年、出席率100%にこだわりをもって、会員全員が努力しています。「子ども食堂」「無料学習塾への教材・図書の寄贈」といった活動は、地域における課題に対する解決の道を皆で考えることができる素晴らしい活動だと思いました。

8月28日は**東京ワセダRC**と**東京四谷RC**の合同例会に訪問しました。新宿5クラブの中でも、特に仲の良い二つのクラブが合同で迎えてくださり嬉しく思います。東京ワセダRCは5名の女性を含めた32名でスタートし、25周年を迎えます。創立20周年で提唱したワセダローターアクトクラブは5周年を迎え、次年度はアクト出身の会長を迎え、多分最も若い会長になるでしょう。東京ワセダローターアクトクラブの成功は、他の新宿4クラブだけでなく、皆が学ぶところとなるでしょう。ローアアクトサポート資金を設け、地域的に学校が多い立地条件にも恵まれ、青少年奉仕に積極的に関わって来た結果が出ていると感じました。ロータリアンのアクト例会への出席など、設立後のメンテナンスが大事だと、片岡会長も仰っていましたが、今後30歳を超えたアクターとどう関わり続けるのかについては、まずは学友として会合に参加することになるのでしょうか。インターアクトについても学校訪問を通じて検討中と聞き及んでおります。若い人達の発想がクラブに良い影響を与え、将来に繋がっていくと思います。

東京四谷RCは、「四谷そして新宿を見つめなおす」というスローガンを掲げて、地元四谷と新宿に集中して地元密着型奉仕活動を行うとお聞きました。地域にどれだけのインパクトを与えられるか期待したいところです。35周年を迎えるのを機に、新旧会員が融合する世界を作ってください、チャーターメンバー

がどのような気持ちでこのクラブを創設したのかを、新しい会員の方々はぜひ聞いてみてください。女性会員も多いですし、若い会員と一体になって今後も素晴らしい東京四谷RCを運営して欲しいと思います。地元での活動は、荒木町を中心に、認知度アップに繋がっていると思います。乳児院、3Keys（貧困の子供達への学習支援）、区立四谷中学校への支援などの青少年に関係する社会奉仕活動も特徴的でした。

8月29日は、創立60周年を迎える**東京江北RC**を訪問しました。会長テーマは「60周年を学び、親睦を深めよう」で、来年3月12日の周年事業に向かって、クラブ一丸となっている状況が窺われました。最高齢89歳の会員のほか、先輩方が大変元気に活躍されておられました。独自の「東京江北RC会員のためのロータリーガイダンス」があり、新人教育に役立てていらっしゃいました。クラブ協議会報告書はまず「クラブ細則」が巻頭にあるように、クラブ内の秩序を大切にされました。基本がきちんとしており、先輩方の良き伝統が受け継がれている印象でした。不易流行ということで、大切な本質を変えないことも大事であり、また元気で楽しいクラブであるからこそ、みなさまが元気でいられるのでしょうか。このような「良いこと」をもっと知らしめていければ、ロータリーへの理解をいただけるものと確信します。

9月に入り、2日には**東京西北RC**を訪問しました。初代会長は早稲田大学総長だった大濱信泉さんですが、私と同郷の石垣島出身でした。古い歴史のあるクラブで、大変運営が素晴らしい。そもそも歴史のある企業、大企業が多く、比較的大きな規模を誇っていたこともあり、カルチャーの継承ができていらっしゃる感じました。現在は会員数が60名強で、70名を目指して会員増強されています。オープン例会を開催し、広く会員勧誘の機会を作って、功を奏している様です。運営方針も、RI方針、地区方針と並んで、「東京西北ロータリークラブらしさ」を大切にし、さらに磨くという目標を掲げて頑張っている感じがします。クラブの特徴としては、国際奉仕に力を入れていること。青少年奉仕では、新宿5クラブ社会貢献プロジェクトに参画され、社会奉仕・環境保全委員会と連携を図り、特に新宿地域における青少年育成と福祉支援を目

指して居られます。国際奉仕の面でも、新宿に居住している外国人との交流に目を向けていらっしゃるということです。

## ポリオプラスに関する動画のご案内



世界ポリオ根絶活動および数十年にわたるロータリーの取り組みについてクラブの理解を深めるための2本の新しい動画を、国際ロータリーが作成

いたしました。10分間バージョンと15分間バージョンの2種類があり、例会のプログラムとして、またはロータリーとポリオについて人びとに伝えるための公共行事での上映用に最適です。10月24日は世界ポリオデーです。Vimeo(動画サイト)からビデオを再生またはダウンロードしてください。

<https://vimeopro.com/rotary/polioplus-videos-japanese>

## 会員数報告

2019年7月1日クラブ数	71RC
2019年7月1日正会員数	2,990名
(内女性)	202名
2019年8月末日正会員数	3,040名
(内女性)	211名
会員増減数	50名
入会者数	61名
退会者数	11名

※詳細は地区ウェブサイト「[会員数](#)」のページをご覧ください

## [哀悼] 謹んで哀悼の意を表します



東京豊島東ロータリークラブ

**山元 巖**(やまもと いわお)会員

逝去日 2019年9月11日 享年87

入会日 1986年2月19日

山本税務会計事務所 所長  
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

## ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

### ロータリー財団メジャードナー

レベル1 野生司義光 (東京小石川)

### マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

4回 山下 正治 (東京城北)

2回 大関 健一 (東京西北)

1回 井上 秀一 (東京西北)

多村 繁樹 (東京西北)

佐山 政昭 (東京城北)

井部 秀恭 (東京西北)

藤井 武彦 (東京西北)

新垣 淑典 (那覇)

### ポール・ハリス・フェロー

戸栗 修 (東京西北)

原田 英一 (東京城北)

松井 仁志 (東京江戸川・会員ご家族)

長山 宏 (那覇)

平良 修一 (那覇)

長嶺 善憲 (那覇)

西生 建 (東京西北)

伊東 基樹 (東京ワセダ)

新垣 淑豊 (那覇)

与儀 達樹 (那覇)

金城 智誉 (那覇)

保田盛清士 (那覇)

### ベネファクター

多賀 之雄 (東京江戸川)

山本 和夫 (東京江戸川)

### 米山功労者・メジャードナー

46回 中野 正人 (東京池袋)

19回 斉藤 雅夫 (東京お茶の水)

17回 黒沢 雅寛 (東京北)

10回 細谷 彬 (東京麹町)

### 米山功労者・マルチプル

7回 榛村 浩一 (東京セントラルパーク) 迫 幸治 (那覇東)

6回 大久保信隆 (東京荒川) 長與 博典 (東京後楽)

4回 小島 清治 (東京紀尾井町) 安里 政晃 (那覇)

3回 増田 雅秀 (東京ワセダ)

2回 鈴木 一成 (東京新宿)

### 米山功労者

柳 正憲 (東京)

8月31日分まで 敬称略、順不同

編集者: 遠山 明良 2019-20年度地区副幹事 東京ロータリークラブ所属